

第6回 第3次千葉市議会運営活性化推進協議会 協議概要

- 1 日時 令和6年4月19日（金）
午前10時から10時41分まで
- 2 会場 千葉市役所低層棟6階 第1委員会室
- 3 出席者 （委員）石川弘委員長、麻生紀雄副委員長、
須藤博文委員、伊藤隆広委員、中島賢治委員、宇留間又衛門
委員、田畑直子委員、川合隆史委員、伊藤康平委員、
森山和博委員、椛澤洋平委員、中村公江委員、守屋聡委員
（オブザーバー）黒澤和泉議員
（事務局）議会事務局長 他11人
- 4 傍聴者 （報道関係） 1人
（一般傍聴者）なし

5 協議事項及び協議結果

（1）委員会機能の充実について

<協議内容>

所管事務調査の取組方針に関する協議結果の取りまとめを行った。

<協議結果>

所管事務調査の取組方針を資料記載の内容のとおりとすることを決定した。

（2）議会のデジタル化の推進について（タブレット導入の検討について）

<協議内容>

ワーキンググループから報告があった、公費タブレットの機種選定に係る項目の検討結果（ワーキンググループ案）について、事務局から説明を行った。

<主な意見>

- ・他のアプリ（例えばラインやフェイスブック）のインストールを認めた場合、目的外使用をしないようにルールの厳格化が必要である。
- ・外部オンラインストレージへのアクセス可否についても、使用ルールの中で決めてほしい。
- ・自費でマウスやタッチペンなどを購入して使用することを認めてほしい。
- ・タブレットに慣れてない議員へのサポートやフォローが必要である。
- ・タブレットを導入するなら、自分が今使っているものよりも使いづらいものでは困る。すごく使いやすいものを導入するか、導入をやめるかどちらかにすべきでは。（オブザーバー意見）

<協議結果>

ワーキンググループ案が了承され、この結果を踏まえ、第4回定例会からのタブレット導入を目指し、調達準備を進めることとなった。

なお、議長から、活性協で決定した「公費タブレット導入の基本的な考え方」について改めて説明があった上で、全議員に同一機種タブレットを貸与することで全議員が同一環境で審議、運用ができることとなるものであり、タブレット導入後は全議員が有効活用し千葉市議会全体の機能強化を図っていく必要があることを認識するよう、話があった。

(3) 次回の開催日程について

令和6年第2回定例会中の開催に向けて調整を行うこととした。